

家畜衛生ニュース

平成28年11月号

愛知県東部家畜保健衛生所

海外旅行にはご注意を

11月16日に韓国で、H5N6亜型による高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) が発生しました。韓国ではその数日前に、「今年の冬 (2016年10月から2017年5月まで) に備えて、口蹄疫と高病原性鳥インフルエンザ防疫状況を点検し、再発防止に総力を傾ける」と明言していただけに残念でなりません。

このように海外では、日本では清浄化を達成した疾病が現在でも多く発生しています。今年に入ってから韓国では、口蹄疫・豚コレラ・HPAIが発生しています。アジア地域については、7月にモンゴルで口蹄疫が発生しています。また、HPAIは、インド、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナム、中国、台湾、ブータンなどで発生が確認されています。

新しい発見や経験に出会える海外旅行は楽しいものです。そのため、「海外旅行に行くな」とは言いませんが、畜産農家がこのような病気を国内に持ち込めば、自分の農場だけに限らず、周辺の農場にも被害をおよぼすことは確実だと思います。そこで、不必要に現地の畜産農場に近づかない、生鳥市場は避ける、肉を使った製品を国内に持ち込まない、といった注意を厳守していただきたいと思います。